

科目名	成人看護学方法論Ⅳ	対象学年・時期	2 年・後期
講師	非常勤講師および専任教員	単位数・時間数	1 単位・30 時間
授業概要	<p>解剖生理学では、人体の様々な組織や細胞・臓器について、それらが正常に機能することで人間の生命を維持していることを学んだ。病態学では、人体の様々な機能が破綻した状態について学び、病態・検査・治療に関する知識と結びつけ身につけた。</p> <p>この科目では、解剖生理学と病態学の知識を基盤とし、成人看護学概論で学んだ成人期にある対象の特徴をふまえ、対象が各種の健康障害から回復していく、障害を持ちながらも生活を再構築していく過程を支援するための知識と技術について学ぶ。健康障害を抱えた対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、対象の置かれた状態を観察し判断するための知識、回復に向けた支援を対象に合わせて実践するための知識を身につける。ここでは、泌尿器に障害のある対象、女性生殖機能障害のある対象、眼科疾患・耳鼻咽喉科疾患のある対象、がん放射線療法を受ける対象への看護について学習する。</p>		
授業形態	講義		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 泌尿器に障害のある対象への看護が理解できる。</li> <li>2. 女性生殖機能障害のある対象への看護が理解できる。</li> <li>3. 眼科疾患のある対象への看護が理解できる。</li> <li>4. 耳鼻咽喉科疾患のある対象への看護が理解できる。</li> <li>5. 放射線療法を受ける対象への看護が理解できる。</li> </ol>		
授業計画	<p>&lt;泌尿器&gt;</p> <p>1 回目 泌尿器に障害のある患者のアセスメント</p> <p>2 回目 前立腺切除術を受ける患者の看護</p> <p>3 回目 尿路変更術を受ける患者の看護</p> <p>&lt;女性生殖器&gt;</p> <p>1 回目 生殖・性機能障害のある患者のアセスメント 検査・処置を受ける患者の看護 (超音波検査、マンモグラフィー)</p> <p>2 回目 子宮・卵巣摘出術、乳房切除術を受ける患者の看護</p> <p>&lt;眼・耳鼻咽喉&gt;</p> <p>1 回目 ジョイント授業のガイダンス 眼科疾患をもつ患者の看護</p> <p>2～3 回目 耳鼻咽喉科疾患をもつ患者の看護 視覚・聴覚に障害をもつ対象の生活支援 (調べ学習・グループワーク) "</p> <p>4～5 回目 グループごとプレゼンテーション</p> <p>6 回目 視覚・聴覚に障害をもつ対象への看護まとめ</p> <p>&lt;がん放射線看護&gt;</p> <p>1 回目 放射線治療を受ける患者の意思決定支援</p> <p>2 回目 放射線治療を受ける患者への看護の実際 (副作用への対応)</p> <p>3 回目 放射線治療を受ける患者への看護の実際 (副作用への対応)</p>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器 第15版 大東貴志他著 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器 第15版 末岡浩他著 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13] 眼 第14版 大鹿哲郎他著 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14] 耳鼻咽喉 第14版 小松浩子他著 医学書院</p> <p>系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 第10版 尾尻博也他著 医学書院</p>		
事前・事後学修	適宜、指示します。		
評価基準および評価方法	筆記試験		
備考			